

日時：3月15日（土） 13：00～17:00

場所：東北学院大学 土樋キャンパス

5号館5階第1会議室 参加無料 事前申し込み必要 定員80名

海岸と人間

防潮堤を考える市民フォーラム

現在、津波被災地沿岸部では巨大防潮堤の建設事業が進んでいます。防潮堤は、非常時に私たちの命を守る大きな効果を果たします。しかしその一方で、生態系に根ざす日常の暮らしや文化を損なうおそれもあります。そのため、各地で住民と行政との対話が続いています。311の震災を経て、私たちは行政に依存するだけではなく、多様な関係者とともに、より良いまちづくりを主体的に目指していくかなければならないことに気づきました。その意味でこの防潮堤問題は、これからの日本社会の在り方を象徴的に問いかけています。防潮堤問題に対する正解は一つではありません。また、「本当は何が問題なのか？」も探す必要があります。この問題について共に学び、自分たちが出来ることを一緒に話し合ってみませんか？ 皆さまの参加をお待ちしております。

開会の挨拶：佐々木俊三（東北学院大学副学長）

基調報告：廣瀬俊介「津波被災地の復興と風土の形成」
清野聡子「地域がいきっていくための海岸管理」

全員での対話：「海岸と人間のあり方を共に考える」
案内人 - 松島宏佑

廣瀬俊介：東北芸術工科大学大学院准教授、ランドスケープデザイナー
清野聡子：九州大学准教授、海岸生態工学、国交省「海岸管理のあり方検討委員会」委員
松島宏佑：一般社団法人ふらっとーほく 代表理事

主催：東北学院大学地域共生推進機構

参加申し込み・問い合わせ先：

地域共生推進機構（学長室事務課）

TEL：022-264-6424

FAX：022-264-6364

E-Mail：kikou@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

海と生きる自然との対話、つながり合う心に
私たちの復興と持続可能な防潮堤がある・・・